

平成29年3月期 第2四半期連結決算概要

1. 連結の範囲

項目	平成28年3月期	平成28年9月期	増減
連結子会社数	68社	68社	0社
持分法適用会社数	25社	25社	0社
合計	93社	93社	0社

2. 業績概要

(1) 経営成績

(単位: 億円)

(注) 億円未満切捨て

項目	前年第2四半期 (H27.4~H27.9)	当第2四半期 (H28.4~H28.9)	増減
売上高	3,232	2,810	△ 421
営業利益	205	115	△ 89
金融収支	△ 4	△ 1	3
持分法投資損益	15	9	△ 6
その他営業外損益	△ 19	△ 19	△ 0
経常利益	196	103	△ 93
特別損益	△ 0	△ 4	△ 4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	137	71	△ 66

1株当たり四半期純利益	12円96銭	6円71銭	△ 6円25銭
-------------	--------	-------	---------

為替レート(円/\$)	121.8	105.3	△ 16.5
ナフサ価格(円/KL)	47,800	31,400	△ 16,400
豪州炭価格(円/t)*	9,380	7,568	△ 1,812

*豪州炭(CIF)

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位: 億円)

項目		前年第2四半期 (H27.4~H27.9)	当第2四半期 (H28.4~H28.9)	増減	
売上高	化学	1,369	1,179	△ 190	カプロラクタム・ナイロン樹脂販売価格低下、 アンモニア製品販売数量減 他
	医薬	32	45	12	販売数量増 他
	建設資材	1,182	1,097	△ 84	セメント輸出価格低下、生コン販売数量減 他
	機械	340	266	△ 73	成形機・産機出荷減 他
	エネルギー・環境	372	266	△ 106	販売炭価格低下、販売炭・預り炭数量減 他
	その他	87	70	△ 17	
	調整額	△ 153	△ 115	37	
	合計	3,232	2,810	△ 421	
営業利益	化学	63	4	△ 59	補修費増(定修影響)、 カプロラクタムスプレッド(製品と原料の値差)縮小 他
	医薬	2	11	9	販売数量増 他
	建設資材	98	73	△ 24	セメント輸出価格低下、生コン販売数量減 他
	機械	17	7	△ 10	成形機採算性低下 他
	エネルギー・環境	24	17	△ 6	販売炭・預り炭数量減 他
	その他	4	2	△ 1	
	調整額	△ 5	△ 1	3	
	合計	205	115	△ 89	

(注)・平成28年度より、機械・金属成形セグメントを機械セグメントへ名称変更。

・営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

(2)財政状態

(単位:億円)

(借方)	平28/3末	平28/9末	増減	(貸方)	平28/3末	平28/9末	増減
現預金	424	300	△ 124	支払手形・買掛金	742	788	45
売上債権	1,395	1,254	△ 140	未払金	322	237	△ 85
たな卸資産	760	810	49	有利子負債	2,166	2,042	△ 124
有形固定資産	3,238	3,186	△ 51	その他負債	669	668	△ 1
無形固定資産	49	45	△ 4	純資産	2,896	2,800	△ 96
投資有価証券	481	466	△ 14	(株主資本)	(2,630)	(2,643)	(13)
繰延税金資産	160	169	8	(その他の包括利益累計額)	(35)	(△ 52)	(△ 88)
その他資産	287	302	15	(非支配株主持分 他)	(230)	(209)	(△ 21)
資産合計	6,797	6,535	△ 262	負債、純資産合計	6,797	6,535	△ 262

(3)キャッシュ・フローの状況

〈参考〉

項目	平28年9月期		平27年9月期
営業活動による キャッシュ・フロー	億円 260	税金等調整前四半期純利益 98、減価償却費 168 他	億円 280
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 186	有・無形固定資産の取得 △189 他	△ 168
財務活動によるキャッシュ・フロー (有利子負債) (その他)	△ 180 (△ 118) (△ 61)	配当金の支払 △56 他	△ 188 (△ 131) (△ 57)
現金及び現金同等物 期末残高	292		299

【トピックス】

ー化学セグメントー

- ◆ケミカル工場での大粒硫安の増産決定と、JA全農との硫安出荷・管理合併会社の設立を合意 [平成28年4月]
- ◆JSR(株)・三菱レイヨン(株)と、ABS樹脂事業統合に対し基本合意 [平成28年5月]
- ◆「大阪研究開発センター」を開設 [平成28年7月]
- ◆セパレータの設備増強を決定[平成28年9月]

ー建設資材セグメントー

- ◆石灰石関連事業に係る営業・物流機能を宇部マテリアルズ(株)に移管 [平成28年4月]
- ◆高性能セメント系セルフレベルリング材「タフレベラーGプラス」の発売を開始 [平成28年6月]

ー機械セグメントー

- ◆宇部興産機械(株)が新中型ダイカストマシン UB-iS3シリーズを上市 [平成28年5月]
- ◆宇部興産機械(株)が三菱重工プラスチックテクノロジー(株)の経営権取得のため出資を決定 [平成28年7月]
- ◆UBE Machinery Inc. が米国・ケンタッキー州に販売・サービス拠点を設立 [平成28年8月]

3. 通期業績予想

(単位:億円)

項目	平成28年3月期	平成29年3月期 <予想>	増減
売上高	6,417	6,100	△ 317
営業利益	414	350	△ 64
経常利益	396	330	△ 66
特別損益	△ 119	△ 40	79
親会社株主に帰属する当期純利益	191	200	9
1株当たり当期純利益	18円06銭	18円90銭	0円84銭
年間配当金	5.0円	6.0円	1.0円
為替レート(円/\$)	120.1	105.2	△ 14.9
ナフサ価格(円/KL)	42,600	33,100	△ 9,500
豪州炭価格(円/t)*	8,843	8,247	△ 596

*豪州炭(CIF)

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位:億円)

項目	平成28年3月期	平成29年3月期 <予想>	増減	
売上高	化学	2,667	2,500	△ 167
	医薬	92	100	8
	建設資材	2,373	2,300	△ 73
	機械	734	680	△ 54
	エネルギー・環境	690	600	△ 90
	その他	167	140	△ 27
	調整額	△ 309	△ 220	89
合計	6,417	6,100	△ 317	
営業利益	化学	120	90	△ 30
	医薬	11	15	4
	建設資材	198	175	△ 23
	機械	46	40	△ 6
	エネルギー・環境	38	35	△ 3
	その他	11	10	△ 1
	調整額	△ 12	△ 15	△ 3
合計	414	350	△ 64	

カプロラクタム・ナイロン樹脂販売価格低下、
アンモニア製品販売数量減 他
販売数量増 他
セメント輸出価格低下、生コン販売数量減 他
成形機・産機出荷減 他
販売炭価格低下、販売炭・預り炭数量減 他

補修費増(定修影響) 他
販売数量増 他
セメント輸出価格低下、生コン販売数量減 他
製鋼品採算性低下 他
販売炭・預り炭数量減 他

(注)・平成28年度より、機械・金属成形セグメントを機械セグメントへ名称変更。

・営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

[参考]連結主要指標

(単位:億円)

項目	前年第2四半期 <H27.4 ~ H27.9>	当第2四半期 <H28.4 ~ H28.9>	平成29年3月期 <予想>	平成28年3月期
設備投資	137	183	480	344
減価償却費	177	168	350	355
研究開発費	65	65	145	137
事業利益	226	130	380	452
有利子負債残高	2,289	2,042	2,070	2,166
自己資本	2,674	2,590	2,720	2,665
総資産	6,945	6,535	6,800	6,797
D/Eレシオ(倍)	0.86	0.79	0.76	0.81
自己資本比率(%)	38.5	39.6	40.0	39.2
売上高営業利益率(%)	6.3	4.1	5.7	6.5
総資産事業利益率(%)	-	-	5.6	6.5
自己資本当期純利益率(%)	-	-	7.4	7.2
従業員数(人)	10,819	10,841	11,000	10,764